

申告書記載例

令和8年度

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

法人の場合は13桁の法人番号を、個人の場合は12桁の個人番号(マイナンバー)を、右詰めで記入してください。

法人の場合は本社(店)所在地を、個人の場合は住所を記入してください。また、電話番号を記入してください。
住所移転等の変更がある場合は、赤線で見え消しをして、欄内の空白箇所に新しい住所等を記入してください。

法人は法人名・代表者名・ふりがなを記入してください。個人の場合は、屋号があれば記入してください。
相続等で氏名に変更がある場合は、赤線で見え消しをして、欄内の空白箇所に新たな所有者の氏名等を記入してください。
なお、令和4年度申告から、押印は必須ではなくなりました。

令和7年1月1日以前に取得し、申告済みの資産の合計額を、種類別に記入してください。

令和7年1月2日から令和8年1月1日までの間に減少した資産の合計額を、種類別に記入してください。

令和7年1月2日から令和8年1月1日までの間に取得した資産の合計額を、種類別に記入してください。(申告漏れ資産を含む)

令和8年1月1日現在の所有資産の合計額(イ)-(ロ)+(ハ)を種類別に記入してください。

令和8年1月24日		受付印		令和8年度		※所有者コード	
住所		氏名		事業種目		短縮耐用年数の承	
1 住所 茨城県 石原 80 番地 茨城県 石原 6 番地 1		2 氏名 ☆○やくひんせいぞうかぶしがいいしや ☆○薬品製造株式会社 しぶかわ たろう 代表取締役 茨川 太郎		4 事業種目 (資本金等の額) 薬品製造業 (10 百万円)		8 短縮耐用年数の承 有・無	
3 個人番号又は法人番号		5 事業開始年月		6 この申告に回答する者の係及び氏名		9 増加償却の届出	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4		平成15年 4月		経理課 茨川 次郎 (電話 23-0000)		10 非課税該当資産	
7 税理士等の氏名		11 課税標準の特例		12 特別償却又は圧縮償却		13 課税標準の特例	
税理士 群馬 太郎 (電話 027-000-0000)		有・無		有・無		14 青色申告	
15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地		16 借用資産		17 事業所用家屋の所有区分		18 備考(添付書類等)	
① 茨城県石原80番地 ② 茨城県石原6番地1 ③		貸主の名称等 石原リース(茨城県石原80)		自己所有・借家		該当するものに○をつけてください。 ① 増減あり 2. 増減なし 3. 新規申告 4. 該当資産なし 5. 閉鎖・廃業・解散等 6. 修正あり()	
17 事業所用家屋の所有区分		18 備考(添付書類等)		①前年申告資産と今回申告する資産を比較し、該当するものに○を付けてください。 ②修正がある場合はその概要を記載してください。 ③新規特例資産等がある場合には、こちらの空白欄に適用条文等を記入してください。		8~14、16、17の欄は各々該当するものに○で囲んでください。 16の欄が有の場合は貸主の住所・氏名をご記入ください。	
資産の種類		取得価額		決定価格		課税標準額	
1 構築物		10億 百万 千 円		10億 百万 千 円		10億 百万 千 円	
2 機械及び装置		3 700 000		600 000		4 100 000	
3 船舶							
4 航空機							
5 車両及び運搬具							
6 工具、器具及び備品		1 500 000		550 000		2 750 000	
7 合計		5 200 000		1 150 000		6 850 000	
1 構築物		10億 百万 千 円		10億 百万 千 円		10億 百万 千 円	
2 機械及び装置							
3 船舶							
4 航空機							
5 車両及び運搬具							
6 工具、器具及び備品							
7 合計							

この部分は
記入不要

・本社住所移転あり
・新規特例資産あり(法第〇条第△項)

種類別明細書記載例

前年度(令和7年度)において申告されている場合の記載例

前年度申告していただいた資産の名称はカナ25文字まで記載されています。

令和8年度

種類別明細書(増加資産・全資産用)

資産の種類	所有者コード								所有者名		課税標準の特例		課税標準額		増加事由	摘要
	2 3 4 5 6 7 8								△△薬品製造株式会社		1 枚のうち		1-2 3-4			
	資産の種類	資産コード	資産の名称等					数量	取得年月	取得価額	耐用年数	価額		率		
1	1	4	アスファルトホソウ					1	H 2 0 4	2,000,000	10				1-2 3-4	
2	1	5	アコーデオンモンヒ					1	H 2 0 4	700,000	10				1-2 3-4	
3	1	6	カーポート					1	H 2 0 4	600,000	10				1-2 3-4	撤去
4	1	7	カンパバン					1	H 2 1 8	400,000	10				1-2 3-4	
減少			シュヘツケイ 4					4		3,700,000					1-2 3-4	
			ファンホウキ					1	H 2 1 4	550,000	10				1-2 3-4	一部売却
			シフトウケツアツケイ					2	H 2 7 8	400,000	10				1-2 3-4	
資産の増加			シュヘツケイ 2					2		1,500,000	10				1-2 3-4	
			コウケイ 6					6		5,200,000					1-2 3-4	
			メッキンショウトクキ					1	R 0 5 4	1,500,000	10				1-2 3-4	
			アスファルトホソウ					1	R 0 1 6	1,000,000	10				1-2 3-4	申告漏れ
			ノートパソコン					1	R 0 2 9	300,000	5				1-2 3-4	〇〇市より移動
18			小計												1-2 3-4	

記入不要
この部分は

第二十六号様式別表一(提出用)

次のような事項を記入してください。

- 申告漏れ
- 市町村をまたぐ移動の詳細
- 課税標準の特例の適用条項(例:「特例」や「法第〇条第△項」等)
- その他必要な事項

増加事由

1...新品取得
2...中古品取得
3...移動による受け入れ
4...その他

該当する番号を〇で囲んでください。

今年度から新規に申告する資産は、すべて増加資産として記入してください。